



組合消防マスコットマーク
"りゅうじんくん"

広域消防

第
120
号

2023.12

構成市町

大洲市
内子町

おおず

令和5年度

防火ポスター — 最優秀賞作品

3 ページを
防火ポスターの記事は、
ご覧ください。

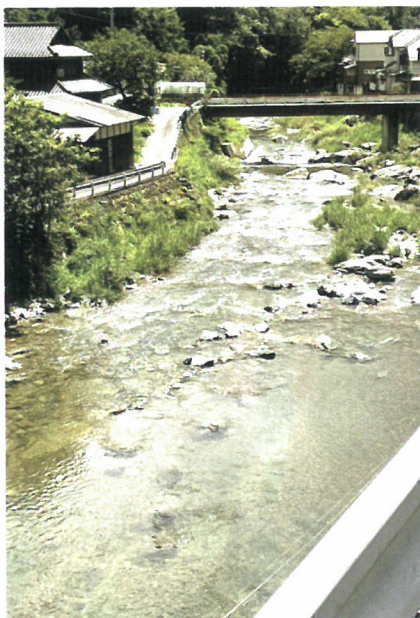


大洲地区広域消防事務
組合ホームページから
申請・届出の様式をダ
ウンロードできます。
<http://ozu119.jp/>

シリーズ わが町の消防団！ No. 62

地域と共に

内子町消防団小田方面隊田渡分団 副分団長 寺岡和一



田渡分団は、小田川の支流田渡川流域を管轄しています。吉野川・中田渡・上田渡・臼杵地区を3部で構成し、大森分団長以下44人で活動しています。平均年齢は53歳で、高齢化の波が押し寄せています。消防団活動については、地域の方々の御理解と御協力に支えられていることに感謝しています。

この文章を寄稿している9月1日は『防災の日』です。近年は、大型台風や異常気象による『顕著な大雨に関する情報・線状降水帯・氾濫危険水位』等の言葉を、よく耳にする様になりました。もはやこれは異常気象ではなく、通常の気象となっています。我々消防団も、地域の災害を防ぐ活動を目指していますが、まずは『自助』を肝に銘じ、行動をして

て頂けたらと思っています。今後とも地域の皆様が安全・安心に暮らして頂ける様、日々努めて参ります。



～ヒートショックにご用心～

冬季に多く救急搬送されている一つの要因として、「ヒートショック」が考えられます。

「ヒートショック」は、寒暖差による血圧の変動によって、心疾患や脳卒中など重篤な病気を引き起こすことがあります。特に冬場の入浴時に多く発生しています。



ヒートショックを防ぐためのポイント

- 入浴前に脱衣所や浴室を温めましょう
- 湯温は41度以下、お湯に浸かるのは10分を目安に
- 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう
- 食後すぐの入浴や、飲酒後の入浴は避けましょう
- お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かけましょう





防火ポスター 小学生作成

大洲市と内子町の小学生を対象に、防火ポスターを募集しました。17校から162作品の応募があり、有識者による審査をしたところ、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作25点が決まりました。最優秀賞と優秀賞は、ここに掲載のとおりです。

また、佳作以上の作品は、当組合のホームページに掲載します。

小学生の皆さん、多数の応募ありがとうございます。防火ポスターを作成することで、火災予防の気持ちが一層育まれたと思います。

最優秀賞
大洲小学校3年
福住 鈴斗



優秀賞
内子小学校6年
沖 永真 央



優秀賞

石畳小学校6年
山田 夕依



優秀賞

新谷小学校4年
佐川 惺



優秀賞

内子小学校4年
山崎 珀 緋



優秀賞

喜多小学校2年
富田 莉 愛



全国消防救助技術大会 入賞

大洲消防署川上支署 消防副士長 島田 紘 佑

大洲消防署川上支署の島田紘佑消防副士長が、8月25日に札幌市消防学校で行われた第51回全国消防救助技術大会に四国代表として出場しました。

全国大会という大舞台で、日頃の訓練で鍛えた技術を発揮し上位入賞しました。出場種目は、はしご登はんという種目です。自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを15メートル（ビル5階相当）登はんします。このはしご登はんは、災害建物へ進入するとき等の消防活動には欠かせません。

島田消防副士長の功績を称え、9月26日に大洲消防本部で二宮隆久組合長から表彰されました。



島田消防副士長は、7月29日に香川県消防学校で行われた第51回消防救助技術四国地区指導会で堂々愛媛県1位となり、全国大会の出場権を獲得していました。

なお、この指導会に出場したほふく救出の内子消防署本署上田卓己、山尾啓敬、石河賢明各消防士とロープブリッジ渡過の大洲消防署本署榊田優一朗消防士は、見事に入賞しました。また、水上の部の水中結索に大洲消防署長浜支署山家裕太消防副士長、坂井洋斗、中川貴仁各消防士が出場しました。

これら3種目は、全国大会の出場は惜しくも叶いませんでしたが、猛暑の中での連日の訓練、お疲れ様でした。

- 8月25日 全国大会入賞
- 7月29日 四国大会(愛媛県1位)
- 6月 6日 愛媛県大会優勝



人事行政の運営等の状況

大洲地区広域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年条例第15号）に基づき、令和4年度の人事行政の運営等の状況を公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用状況（R4.4.2～R5.4.1）（人）

R5.4.1現在 現有数	消防吏員	再任用	会計年度 任用職員
110(3)	5	3(2)	(1)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(2) 職員の退職状況（R4.4.2～R5.4.1）（人）

定年退職	勸奨退職	その他	計
2	1	2(3)	5(3)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(3) 年齢別職員構成の状況（R5.4.1）（人）

区分	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	計
職員数	10	26	14	7	12	
区分	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～59歳	60歳以上	計
職員数	8	15	4	13	1(2)	

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(4) 階級別勤続年数の状況（R5.4.1）（人）

階級	5年未満	5～14年	15～24年	25～34年	35年以上	計
消防監					1	1
消防司令長					5	5
消防司令				5	5	10
消防司令補			16	11	4(1)	31(1)
消防士長		10	3	1	(1)	14(1)
消防副士長		7			1	8
消防士	29	12				41
計	29	29	19	17	16(2)	110(2)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	歳出額 A (千円)	実質収支 (千円)	人件費 B (千円)	人件費率 B/A	令和3年度の 人件費率
令和4年度	997,446	17,657	770,036	77.2%	78.7%

※ 人件費には、特別職及び会計年度任用職員に支給される報酬等を除く

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（R5.4.1）

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
組合	265,774 円	342,171 円	36.0 歳
国	322,487 円	404,015 円	42.4 歳

※ 組合の額及び年齢については再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除く

(3) 職員の初任給の状況（R5.4.1）

区分	組合	国
大学卒	175,300 円	185,200 円
高校卒	154,600 円	154,600 円

(4) 級別職員数の状況（R5.4.1）

区分	標準的な職務内容	職員数(人)	構成比
1級	主事	45	40.9%
2級	主事	11	10.0%
3級	係長、主査	20(1)	18.2% (100.0%)
4級	専門員	16(1)	14.5% (100.0%)
5級	課長補佐、副主幹	7	6.4%
6級	次長、署長、課長、副署長、主幹	10	9.1%
7級	消防長	1	0.9%
合計		110(2)	100.0%

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(5) 職員手当の状況

区分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者6,500円、扶養親族6,500円(子の場合10,000円)、配偶者のない職員の扶養親族1人目6,500円(子の場合10,000円)。一定の年齢の扶養親族1人につき5,000円を加算。	同	－
住居手当	16,000円を超える家賃を支払っている借家居住者 支給上限額28,000円	同	－
通勤手当	通勤距離片道2km以上 交通機関利用…普通運賃相当額 交通用具利用 2km以上 …… 2,000 円 5km以上 …… 4,200 円 10km以上 …… 7,100 円 15km以上 …… 10,000 円 20km以上 …… 12,900 円 25km以上 …… 15,800 円 ～ 31,600 円	同	－
期末手当 勤勉手当	支給割合（4年度） 期末手当 2.40 (1.35)月分 勤勉手当 2.00 (0.95)月分 役職加算 5～15% 1人当たりの平均支給額（4年度） 1,200千円	異	役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

勤務種別	1日の勤務	休憩時間	週休日
毎日勤務	8時30分～ 17時15分	60分	土・日曜日
隔日勤務	8時30分～ 翌日の8時30分	60分2回	4週を通じて8日

(2) 主な特別休暇など

種 類		休暇の概要、取得の要件など
有給休暇	年次有給休暇	1年につき20日（前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日）
	病気休暇	負傷または疾病のため、医師の診断により治療する必要がある場合
	特別休暇	主な休暇 公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、短期介護休暇など
無給休暇	介護休暇	負傷、疾病または老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

4 職員の分限及び懲戒処分状況

(1) 分限処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		降任	免職	休職	降給
勤務実績が良くない場合	地公法第28条第1項第1号				
心身の故障の場合	地公法第28条第1項第2号第2項第1号				
必要な適格性を欠く場合	地公法第28条第1項第3号				
職制・定数の改廃、予算の減少により廃職・過員を生じた場合	地公法第28条第1項第4号				
刑事事件に関し起訴された場合	地公法第28条第2項第2号				

(2) 懲戒処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		戒告	減給	停職	免職
法令に違反した場合	地公法第29条第1項第1号				
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	地公法第29条第1項第2号				
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	地公法第29条第1項第3号				

5 職員のサービスの状況

(1) サービス規律の遵守に関する取組みの状況

通達の発出や各種研修を実施し、職員のサービス規律の遵守に務めている。

(2) 休暇の取得状況

区 分	職員数 (人)	特別 休暇 (日)	病気 休暇 (日)	年次有 給休暇 (日)	年次有給休暇の 平均取得日数 (日)
毎日勤務者	14	57	30	117	8.4
隔日勤務者	92	421	273	721	7.8
合 計	106	478	303	838	7.9

※ 会計年度任用職員については除く

6 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の実施状況

区 分	研 修 内 容	研修期間 (日)	受講者 (人)
消防学校	初任教育	115	10
	専科教育（救急科）	37	8
	専科教育（警防科）	10	1
	専科教育（予防査察科）	10	1
	実火災体験型訓練施設研修	4	2
	通信指令員業務研修	3	2
救急救命研修	救急救命士養成課程	126	1
	指導救命士養成課程	30	1
	救急救命士気管挿管病院実習	30症例	1
	救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習	2症例	3
愛媛県研修所	市町課長級研修	2	1
自主研修	人事評価研修	-	93
	接遇研修	-	35
	ハラスメント研修	-	98
	管理職公務員倫理研修	-	24
	人権同和教育研修	-	87

(2) 勤務成績の評定の状況

昇任試験を定期的実施しており、試験の結果と併せて、職員の勤務実績や能力を評価し、昇任、昇格、人事異動に反映させている。

7 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断等の受診状況

	(人)
一般定期健康診断受診者	134
人間ドック受診者	49
各種抗体検査受診者	17

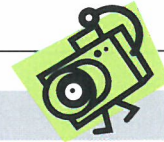
※ 隔日勤務者は、人間ドックを含め年2回の健康診断を実施している。

(2) 公務災害・通勤災害の認定状況

区 分	認定件数	災害の概要
公務災害	0件	-
通勤災害	0件	-

(3) 福利厚生制度に係る負担

区 分	負担額
愛媛県市町村職員共済組合	119,732千円
愛媛県市町村職員互助会	770千円



カメラレポート

10月22日(日)

河辺ふれあいフェスタが、河辺ふるさとの宿で行われました。大洲消防署川上支署が参加をして、消防車の展示や防火服の体験等を行いました。多くの来場者には、消防署のことについて理解を深めて頂けたと思います。



8月26日(土)

フジ内子店の避難訓練に、内子消防署が立会いました。職員45人が消火や通報、避難誘導訓練に真剣に取り組みました。店長の訓示では「お客様の安全を守るために、お客様の目線で対応してください。」と話され、すばらしい訓練でした。



8月24日(木) 25日(金)

大洲市総合福祉センターで、不特定多数の者が出入りする施設の職員を対象に、消防本部予防課が甲種防火管理新規講習をしました。防火管理者を育成するために毎年行っていますが、今年は40人の受講者が2日間の講習を熱心に受講されました。



7月18日(火)

長浜の肱川河口で倒れていた人を救助した長浜高校生徒の宇都宮旭さんに、消防本部が感謝状を贈りました。現場に遭遇した宇都宮旭さんは、消防署へ119番通報により救急車の出動要請をして、救急車が来るまで倒れていた人の安全を守りました。



6月18日(日)

大洲消防署本署は、新谷地区自主防災組織の訓練に立会いました。消火訓練や応急手当、火災を想定した煙体験等に約70人が参加しました。写真は、テントの中に煙を充満させて、火災のときの煙の危険性を体験している様子です。



6月13日(火)

大洲消防署と内子消防署は、如法寺河川敷で八幡浜消防署と合同の土砂災害救助訓練をしました。後藤茂大洲消防署長の指揮により、緊迫感のある訓練でした。この訓練により、広域土砂災害の対応がスムーズにできる体制が整いました。



救急病院案内 (0893) 24-7000		
曜日	病院	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	昼間 加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	夜間 喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

大洲喜多休日夜間急患センター	
診療科目	「内科」初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時~午後10時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後7時~午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

発行編集 大洲地区広域消防事務組合 〒795-0012 大洲市大洲1034番地の4

代表	24-0119	大洲消防署本署	24-0119
総務課	24-2666	同上	長浜支署 52-0119
予防課	24-2667	同上	川上支署 34-2851
警防課	24-2668	内子消防署本署	43-0119
		同上	小田出張所 0892-52-3292

ホームページ <http://ozu119.jp/>

※ 当直病院の交替(水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。病院受診の際には、当直病院へお問合せください。